

# 平成 20 年度施策評価表

① 総合計画	まちづくりの目標	6 章 みんなが安心して暮らせるゆとりあるまち（安心な市民生活の確保）			
	施策（大柱）	2 節 防災	H20 実施計画事業費合計	30,607 千円	※「H20実施計画事業費合計」は、当該計画に主要な事業と位置づけられた事務事業について、各施策、各中柱でそれぞれ合計した事業費です。
	中柱	1 災害を抑える都市基盤づくりの推進		6,950 千円	
		2 災害応急対策の充実		19,152 千円	
		3 災害に強い地域づくりの推進		4,505 千円	
4 危機管理の推進			0 千円		
施策に関する所属	危機管理課、建築指導課、消防本部総務課、警防課、救急課、各消防署				

② 施策の概要	1) 基本方針及び施策の目的			
	○地域防災計画を見直し、災害時の情報連絡体制や避難路・避難場所等の整備を進める。 ○災害時要援護者（災害弱者）をはじめ、被災者の支援体制の整備に取り組む。 ○災害時の救援受け入れ体制を充実する。 ○自主防災会の充実、強化を進める。 ○「所沢市危機管理指針」に基づき、緊急事態に対する体制整備に取り組む。			
	2) 施策の具体的な内容及び実施方法			
	○災害を抑える都市基盤づくりの推進 防災組織や防災計画の充実をはかり、避難路・避難場所等の整備や災害に強い住環境の整備に取り組む。 ○災害応急対策の充実 情報連絡体制を構築し、被災者支援、災害時要援護者対策を推進するとともに、相互応援体制を強化する。 ○災害に強い地域づくりの推進 自主防災会を充実強化するとともに、市民の災害に対する意識向上に取り組む。 ○危機管理の推進 危機管理指針に基づく緊急対応の具体化に取り組み、緊急事態における情報収集や情報共有化、緊急事態対応体制を整備する。			
	3) 分野別計画、指針			
○所沢市地域防災計画 ○所沢市危機管理指針				

③ 優先的に取り組む事業	4) 関連・類似施策				
	○6-1消防・救急				
	5) 施策に対する市民ニーズ				
	『平成19年度所沢市市民意識調査』（20歳以上の男女、無作為抽出による2000人を対象とし、平成19年11月に実施。831人より回収。）における、全43施策についての市民要望の確認（複数回答可）の結果です。				
	6) 施策に係る基礎数値				
	項目名	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度
	自主防災会の設置数	団体	157	162	171
	指定避難場所数	ヶ所	66	66	66
	総合防災訓練参加者数	人	7,456	7,534	8,578
	災害時応援協定件数（民間との協定）	件	9	13	15
	包括的な相互応援協定件数	件	4	5	5
	自主防災訓練等の参加者数	人	2,883	2,945	3,095

事務事業名	成果指標名	指標の説明	単位	H19目標	H19実績	達成率%	将来目標
060407 我が家の耐震診断補助事業	耐震補助件数	目標：耐震診断等補助心券棟数 実績：耐震診断等補助実績棟数	棟	20	13	65.0	
010404 学校受水槽災害用緊急遮断弁設置事業	設置率	目標：19年度設置目標学校数 実績：設置済月校数	校	38	38	100.0	46
010405 緊急・災害時トイレ設置事業	設置率	目標：配置予定基数 実績：配置済基数	基	10	10	100.0	206

※「優先的に取り組む事業」とは、第4次所沢市総合計画・実施計画において、特に優先的に資源配分を行うとしたAランク事業のことです。H19年度でのAランク事業は、全体として67事業です。なお、この欄には、これらAランク事業の中で、「①総合計画一中柱」に位置づけられたものが記入されます。

指標名	説明	単位	基準値	H18	H19	H20	H21	H22	将来目標		
【5年後の目標】災害に対して不安を感じている市民の割合	災害対策全般への取組状況を測る指標	%	年度	15	20.3	20.3	20.3	20.3	20.3	年度 22	
			実績値			60.8			実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2	2	目標値 20.3
			達成率	20.3		33.4%					
【5年後の目標】指定避難場所（学校）の飲料水確保率	学校受水槽への緊急遮断弁の設置率	%	年度	16	78.7	84.1	89.4	94.7	100.0	年度 22	
			実績値		76.6	82.6			実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2	1	目標値 100.0
			達成率	68.1		97.3%	98.3%				
自主防災組織の組織率	自治会・町内会における自主防災組織の組織率	%	年度	17						年度	
			実績値		72.1				実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2	1	目標値
			達成率	69.8							
		%	年度							年度	
			実績値						実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2		目標値
			達成率								

⑤平成19年度中に取り組んだ改革・改善点や、新たに実施した事業等、特徴的な取り組み									
① これまでの1地区1会場方式の総合防災訓練を1地区複数会場で実施（住民主体）									
② 災害時要援護者支援事業として10月から「手上げ方式」を実施									

1) 平成19年度評価により明らかとなった課題、及び新たに認識された課題	現在の進捗状況				
地域防災計画の見直し（H19、H20）	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
災害時要援護者の支援体制の確立	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input checked="" type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
アルファ米などの非常用保存食や応急物資の備蓄	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向

2) 平成20年度における目標設定		
今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)
地域防災計画の見直し	震災対策編、風水害・事故対策編、資料編の完成	H20.10

3) 今後の方向性（事務事業の重点化・効率化、実施手段の見直し、他施策との連携、市民との協働 など）		
危機管理本来の仕事の充実		
(1) 国民保護計画のマニュアル作り、実践訓練		
(2) 所沢市民の生命、財産に関する危機管理のマニュアル作り（各課それぞれのマニュアル、危機管理課のマニュアル）		

評価日	7月15日	記入者職氏名	総合政策部危機管理担当理事 村山 金梧
-----	-------	--------	---------------------